

| | | | | | | | |
|---|--------------------------------|----------|----|-------------|----|-------|---------|
| 科目名 (英) | 講読演習 (Seminar on Reading) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | |
| 学科・コース | 介護福祉士科 | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 60 | 開講区分 | 前期・後期 |
| | | | | | | 曜日・時限 | 火曜、4時限目 |
| 【授業の学習内容】 介護に関わる職業・職種・資格等の内容の理解を図り、進路目標や就職意識を高めるため、文献や事例、視聴覚教材等を通じて、専門職として必要な基本的資質を身に付けることができる。 ※実務者経験:①福祉施設等に所属していた。主業務は障害児者及び高齢者の介護業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士 ②福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護及び相談支援業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士・社会福祉士 | | | | | | | |
| 【到達目標】 挨拶、電話応対の方法など普段の生活の中で身に付けられるマナーなどの習得ができる。 社会人にとって必要な「社会人基礎力」や「チームワーク」、「リーダーシップ」、「フォロアシップ」などのスキルについての理解ができる。 | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 1回目 | 「生活を理解する視点」…自己の生活歴を知り、自己の理解ができる。 |
| 2回目 | 「生活の場の特徴」…自己の現状の生活について理解ができる。 |
| 3回目 | 「生活構成要素」…自身の生活を取り巻く環境について理解ができる。 |
| 4回目 | 「生活経営の考え方」…自身の将来像を思い描くことで、キャリアデザインが理解できる。 |
| 5回目 | 「ICFの視点と生活支援」…ICFの基本的な考え方が理解できる。 |
| 6回目 | 「チームアプローチ」…他職種と多職種の違いとそれらとの連携について理解できる。 |
| 7回目 | 「介護予防について」…介護保険制度の概要について理解できる。 |
| 8回目 | 「生活における介護予防の視点」…高齢者の生活についてグループワークなどを通じて理解できる。 |
| 9回目 | 「レクリエーション」…ものづくり(クラフトレク)について、目的や実施効果などについて理解できる。 |
| 10回目 | 「福祉用具について①」…代表的な福祉用具とその種類について理解できる。 |
| 11回目 | 「福祉用具について①」…住宅改修の視点などについて理解できる。 |
| 12回目 | 「居住環境の整備①」…生活空間と介護の関係について理解できる。 |
| 13回目 | 「居住環境の整備②」…安心して快適な生活の場づくりについて理解できる。 |
| 14回目 | 「多職種との役割と協働」…多職種との連携の図り方について理解できる。 |
| 15回目 | 「前半のまとめ」…グループ発表を行うことで、プレゼンテーションについて理解できる。 |
| 16回目 | プロの職業人を目指すにあたって必要な『自己革命』について理解できる。 |
| 17回目 | プロの職業人を目指すにあたって必要な『行動の原則』について理解できる。 |
| 18回目 | コミュニケーション、身だしなみの重要性について理解できる。 |
| 19回目 | パソコン(ICTなど)を上手く活用するために必要な基礎知識について理解できる。 |
| 20回目 | 「チームマネジメント」…発信力、報連相、電話対応、傾聴姿勢、話す姿勢の基本について理解できる。 |
| 21回目 | 「チームマネジメント」…プレゼンテーションの技術について理解できる。 |
| 22回目 | 「チームマネジメント」…サービスマインド、コンプライアンスについて理解できる。 |
| 23回目 | 「対仕事 社会生活スキル」…問題解決の技法、情報収集とマーケティングの内容について理解できる。 |
| 24回目 | 「職業スキル」…職業人としての基礎知識、労働条件と職場環境について理解できる。 |
| 25回目 | 「職業スキル」…仕事に取り組む姿勢、身構え・気構え・心構え、自己啓発、責任感のついて理解できる。 |
| 26回目 | 「職業スキル」…職場の良好な人間関係の構築方法について理解できる。 |
| 27回目 | チーム内コミュニケーションについて理解できる。 |
| 28回目 | リーダーシップについて理解できる。 |
| 29回目 | 職業倫理について理解できる。 |
| 30回目 | 職業倫理について理解できる。 |
| 準備学習 時間外学習 | 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。 |
| 評価方法 | 成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 教科書: コミュニケーションスキルアップ検定 (滋慶教育科学研究所) | |